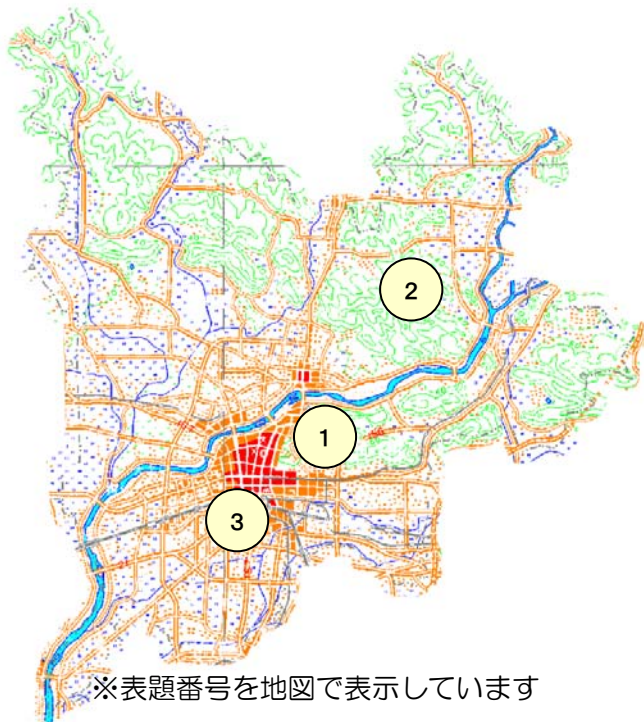


岐阜市自然・環境活動ニュース

2011年11月号

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとする誇るべき自然環境が多くあります。その一方で、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備などにより貴重な自然環境が減少している事実があります。そのような現状の中、今一度岐阜市の自然環境を見つめ直し、私たちの財産として、自らの手で素晴らしい自然環境を次代へ引き継ぎましょう。

岐阜市の自然や環境活動の情報を「岐阜市自然・環境活動ニュース」としてお伝えします。



※表題番号を地図で表示しています

①「伊奈波中学校職場体験 岐阜森林管理署」

10月12日(水)から3日間、伊奈波中学2年生の職場体験が岐阜森林管理署で行われました。

初日のは、金華山でボランティア活動を行っている十時会の皆さんと唐釜登山道の補修を体験しました。

十時会、岐阜森林管理署の方から道具の使い方や作業方法などの指導を受け作業を行いました。

地面に杭を打ち込む作業では、中学生は木槌の重さのためうまく杭に当てることが出来ずにいましたが、十時会の方に交代するとカーンカーンという大きな音とともに、あっという間に杭が埋まっていきました。

中学生たちは、その音の違いや手早い作業の様子に驚いていました。

丸太を運んだり、ツルハシで土を起こしたり、慣れない作業で大変でしたが、登山道修復の大変さとともに、金華山が多くの人手で守られていることが学べたようです。



②「どんぐりコマ回し大会」開催報告

10月16日(日)にながら川ふれあいの森四季の森センターで、「第10回どんぐりコマ回し大会」が開催されました。NPO法人ぎふし森守クラブの主催で今年第10回の記念大会です。

はじめに、ぎふし森守クラブの川瀬さんの紙芝居です。紙芝居を通して、森や山の自然環境や、大切さを学びます。紙芝居の後は、ながら川ふれあいの森を散策です。どんぐりコマに使うどんぐりも拾います。



散策から戻るといよいよコマ作り。よいコマ作りはよいどんぐり選びから。そして、形のよいどんぐりのど真ん中に爪楊枝をセットするのが、よく回るコマ作りの秘訣です。微妙なバランスに皆さん悪戦苦闘しながら、それぞれに、自分だけのコマを作りました

いよいよ本番です。大人も子どもも自慢のどんぐりコマで、どれだけ長い時間回し続けられるかを競い合いました。参加者の最高タイムは59秒39、あと少しで1分という大記録でした。



③「岐阜市まるごと環境フェア」開催報告

10月30日(日)にJR岐阜駅周辺、じゅうろくプラザで「第10回岐阜市まるごと環境フェア」が開催されました。

<平成23年度岐阜市環境活動顕彰表彰>

その中で平成23年度岐阜市環境活動顕彰表彰式が行われました。「岐阜市環境活動顕彰」は、岐阜市の環境保全やリサイクル、環境教育など貢献のあった企業やボランティア団体などを顕彰することで、市民、事業者、行政が一体となって岐阜市の環境をよりすばらしいものにしていくことを目的に平成14年度より始まりました。

平成23年度は、次の3団体・個人の方が受賞されました。

◆硯石の自然を愛する会 (環境保全活動)

◆栗本 満 (環境教育活動)

◆岐阜県立岐阜総合学園高等学校 (ごみ減量活動・研究開発活動)

受賞された3団体・個人の方は長年の活動や成果が認められ受賞となりました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。



<アースレンジャー子ども会議>

岐阜市まるごと環境フェアに先がけてプレイベントとして、10月22日(土)にじゅうろくプラザで「第7回アースレンジャー子ども会議」が開催されました。

今年で7回目となるこの会議では、岐阜市の小・中学生が集まって、環境学習などを通じて感じたことや考えたことについて発表・話し合いをし、意見交換を通じて環境に対する考えを深めてもらうことを目的に開催しています。

前半の活動発表では、6団体の皆さんが発表してくれました。シカやイタチなどの地域の野生動物に関するものから、野菜や米作り、採れた野菜を使ったエコクッキング、校区を流れる河川での水生生物調査の結果や里山保全活動など多岐に渡るものでした。



午後からは、環境クイズとがやがや会議が行われました。

環境クイズでは、難易度の高い問題ばかりで子どもたちは苦戦しているようでしたが、答えが表示されるたびに大きな歓声や悲鳴が上がっていました。

続くがやがや会議では、子どもたちが4つのテーマに分かれて、行動目標となる環境宣言を作るため、自分たちに何が出来るのか話し合いました。



子どもたちは、自分たちの意見を模造紙に書き込みながら意見を深めていき、最後に「岐阜市 子ども環境宣言 2011」としてまとめました。

◆私たちは生きものが棲みやすい環境をつくるために、自分たちで出したゴミは自分たちで処理し、自然の中に捨てません。

◆岐阜市の自然や生きものを守るために、一人一人が責任を持って、行動します。

◆ムダを減らすために、家族や地域で協力して地産地消を心がけます。

◆地球温暖化を防いだり、感謝の気持ちを表すために、みんなで協力して食べ物を残しません。

◆地産地消をして化学肥料を使わない食べ物を作っていきます。

子どもたちの生の意見が反映された素晴らしい宣言文ができました。

この宣言文を、岐阜市全体で取り組めるように、会議に出席した方だけでなくもっと多くの人に広めていきたいですね。



<学生環境会議 2011>

アースレンジャー子ども会議の翌日、23日(日)にハートフルスクエアGで「学生環境会議2011」が開催されました。

今年で5回目となる今年も、アドバイザーとしてNPO法人泉京・垂井の神田浩史さんと榎本淳さんをお招きし、「自然って何だろう？」をテーマに環境に興味のある学生などが集まって話し合いました。

参加者は、まずはじめに簡単なゲームをして緊張をほぐした後、自己紹介を兼ねた1分間のプレゼンテーションと、考えてきた「自然って何だろう？」について発表しました。



続いて、アドバイザーである神田さんの生い立ち、現在に至るまでに経験してきたことやその際に感じた自然観についてお話をうかがい、その後4つのグループに分かれて話し合いました。



参加者は、お互いの活動や経験談について話しながら、テーマである「自然って何だろう？」について意見を深め、グループごとに発表しました。



最後に、神田さんと榎本さんより総括のお話をうかがい、自然環境を流域単位で捉えるという考え方や環境破壊の背景には南北問題が潜んでいることなど、参加者は今後の活動へのヒントを得たようでした。これをきっかけに、参加者の皆さんがさらに広い視野を持ってそれぞれの分野で活躍することを期待しています。

この会議の企画・運営を行ってくれた未来塾 2050の皆様、本当にお疲れ様でした。

—岐阜市の自然・環境活動に関する問い合わせ—

発行者：岐阜市 自然共生部 自然環境課

TEL：058-265-4141 (内線：6451) FAX：058-267-1374

Email：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市自然・環境活動情報サイト「ぎふネイチャーネット」 <http://gifu-nature.net>